



精神分析的心理療法セミナーみえ

ベーシック・コース

観察と記述、設定と態度、history と理解

このコースでは、精神分析的心理療法の基盤を学びます。それは同時に心理臨床の基盤でもあります。これなくしては、この種の心理療法を安全かつ安定的に営めないような基礎を系統的に学べるように企画されています。

精神分析的心理療法は、多種多様な心理臨床のひとつであり、他人の「こころの痛み」や「運命」に触れるような営みです。この深淵な営みは、基盤となる一連の重要な行為によって構成されています。

それが精神分析的に観察することであり、その観察を叙述的に記述することです。この観察や記述は、精神分析的な態度や設定（治療構造）で行われます。そうして「こころのhistory」が再構成され、それをもとに「こころの世界」を理解していきます。

●少人数で、じっくりと討論をしながら、体験から学ぶ

それぞれの講義では、臨床素材を中心にすえて、講師と参加者とが互いに討論して進めていきます。講義への能動的な参加によって、より深く理解し、臨床につなげることを目指します。

テーマ「設定・態度・観察・記述」

◇ヒストリーを持った個人と出会い、理解するために◇

精神分析的心理療法に限らず、心理援助を行う際、的確に見立てを行うことは、必要不可欠です。的確な見立てを行うためには、クライアントが今、どんな問題で困っているのかという「現病歴」への理解、個人がどのような家族の中で生きてきたのかという「家族歴」への理解、個人が、その家族の中でどういったパーソナリティを形成し、問題に直面するまでの間、どういった情緒体験を持ちながら生活してきたのかという「生育歴」への理解が重要となってきます。そして、それら「現病歴」「家族歴」「生育歴」は、密接に絡み合っています。

ベーシック・コースでは参加者の中から担当を決め、「現病歴」「家族歴」「生育歴」を要約したもの及び、詳細に記述された事例の1回の面接記録をそれぞれ提供してもらい、それらを素材とし、見立てについて考えていきます。「現病歴」「家族歴」「生育歴」の要約では、「現病歴」「家族歴」「生育歴」のどういった点に注目し、聞くのか、得られた情報からどう見立てるのかを学びます。また事例検討では、詳細な1回の面接記録を通して、面接場面の設定、セラピストの態度、クライアントのどういった点に注目し観察するのか、それらをどのように記述するのかを学びます。

※本コースは、日本臨床心理士会資格認定協会、定例型（継続型）研修会（4ポイント）に認定されております

2020 年度募集

日時	毎月 第3日曜日 年 11回 9:30~11:30 ※8月とは他コースと合同 8月10日(祝日)に実施
参加資格	臨床心理士(心理職) 心理系大学院生 精神科医・心療内科医 看護師 精神保健福祉士 社会福祉士 教員
定員	12名
会場	くわな心理相談室 JR・近鉄桑名駅にて下車(近鉄名古屋駅から20分)、西口(近鉄側)すぐ。
費用	メンバーシップ登録料 ¥10,000 参加費 ¥40,000 合計 ¥50,000 ※他コースを合わせて受講する場合、上記参加費は半額参加費 ¥20,000

講師

鈴木 誠 氏

堀 英太郎 氏

山村 真 氏 他

セミナーみえの歴史と概要

1999年春に10名の有志が集い、地方でも精神分析的心理療法を学べる場として、前身となる研究会が設立されました。この10名は中堅やベテランの臨床心理士で、それ以前もそれぞれが精神分析の研修を重ねてきていました。研究会を設立するに当たり、自分たちがどんな研修機会を求めているのかを議論し、この研究会の理念を明確にしました。そして、2007年には日本精神分析学会の研修グループ認定制度の開始にともない平井正三氏（御池心理療法センター・NPO法人 子どもの心理療法支援会）を顧問に招請して、日本精神分析学会認定研修グループの「精神分析的心理療法セミナーみえ」が発足されました。

「系統講義の研修機能」と「症例・事例検討会の研修機能」を有し、年一回の公開セミナーとして「特別講義」を主催してきました。2015年度からは新たに「メンバーシップ制」を導入し、会員向けの研修機会のさらに多様な研修機会を提供していきます。

- 顧問：平井正三（御池心理療法センター）精神分析学会 認定スーパーバイザー・認定心理療法士
- 代表：鈴木 誠（くわな心理相談室）精神分析学会 認定スーパーバイザー・認定心理療法士
- 事務局：堀 英太郎（メンタルクリニック アンセル）臨床心理士

メンバーシップ制とは

- 年会費10,000円で、さまざまな講座にメンバーシップ料で受講できます。
- 学会発表や論文投稿、日本精神分析学会認定資格の取得のための支援が受けられます。
- 社会貢献事業の「調査・研究」への参加資格や自主勉強会の会場提供などが受けられます。
- 臨床現場に必要とされる多様な研修機会の企画に参加できます。
- 複数の講座を受講するとき、経済的な負担を軽減できます。

運営の基本的な考え方

- 自分たちが優れた臨床家と評価できる講師を招く。
- 講師と受講生は相互に自立した立場で、じっくり議論しながら学ぶ。
- 厳選された講師と集中的に学ぶ。
- 議論を深めるために、少人数で運営する。
- 理論を学ぶ際も、臨床を中心にすすめる。系統的に学ぶと同時に、自分たちが不足している分野や興味のある分野を学ぶ場とする。
- 研究会は、狭義の徒弟制度とは距離を保ち派閥とはならない。

申込方法

事務局宛に、E-mailもしくはファックスで件名に「ベーシック・コース」参加希望と明記してください。本文には、氏名、所属・職種、住所、電話番号、メールアドレス、臨床心理士資格の有無、日本精神分析学会の会員資格の有無、研修歴を記載し、お申し込みください。参加のお申込みをしていただいた後、おって振込先をご連絡させていただきます。

【費用】：¥50,000（メンバーシップ料金¥10,000 および参加費¥40,000）

※他の系統講義を合わせて受講される場合は、他のコース参加費+¥20,000で受講可能となります

【締切】2020年3月28日（土）（定員になり次第、申込みを締め切ります。）

【メンバーシップ申込先】精神分析的な心理療法セミナーみえ事務局

〒511-0811 桑名市東方山手通 155-1 シャトレ桑名 201 くわな心理相談室

E-mail seminar-mie@mie-psychotherapy.net

FAX 0594-27-3185（電話でのお問い合わせはご遠慮ください。）